

お客様ご紹介

ご紹介：副会長 小沢 孝

- 第 2770 地区ガバナー 中里 公造 様
- 第 4 グループガバナー補佐 小暮 昭弘 様
- 地区副幹事 黒川 幸博 様 (川口モーニング RC)

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

小林 又次郎 会員



幹事報告



副幹事 十文字 裕司

本日は国際ロータリー第 2770 地区 中里ガバナーを初め、多くのお客様にお越しいただきました。大変ありがとうございます。また、荒井幹事は親族の御不幸がありましたので本日は急速 欠席となりました。

たので副幹事の十文字から幹事報告をさせていただきます。

一昨日に開催されました、米山記念奨学 部門セミナー、そして昨日開催されました 2019-2020 年度 派遣生帰国報告会にご参加されました会員の皆様、大変お疲れ様でした。

本日ボックスに投函させて頂いた、地区主催の職業奉仕部門セミナーのご案内ですが、テーマが記載漏れしておりますので、口頭でお伝えします。テーマは「ロータリーの職業奉仕と社会経営は一致する」です。

最後に本日はクラブ協議会、懇親会と午後 4 時 10 分までの長丁場となりますが、年に一度の大切なガバナー公式訪問例会です。最後までご協力宜しくお願い致します。

委員長報告・派遣役員報告

- 財団支援部門 部門委員長 藤嶋 剛史
10/5 の例会は、米山学友の阮 潔 様の卓話です。
- 米山記念奨学委員会 委員長 円谷 友香
米山記念奨学部門セミナー、2019-2020 年度派遣生帰国報告会の参加報告。

ガバナー 卓話



第 2770 地区ガバナー
中里 公造 様

2020-21 年度 2770 地区のガバナーを務めています、川口モーニングロータリークラブの中里でございます。例年より 2 ヶ月ほど遅れることになりましたが、

9 月より今年度の公式訪問が地区の慣例に従いまして、小林直前ガバナーの所属クラブである

越谷北クラブさんよりスタートいたしました。

ホルガークナーク RI 会長は今年度を迎えるにあたり、コロナ禍の中、新しい日常（ニューノーマル）に向けて「全てのクラブがオンラインの例会を実施できる体制を整えてください」そしてガバナーとして支援してください。また、RI の最高経営責任者（CEO）であるジョン・ヒューコ事務総長からは「オンラインの例会・顔を合わせる例会、それらをかけ合わせたハイブリッド例会、そのいずれもが今後のロータリーでは必然となるでしょう」とのメッセージがございました。



そしてお二人とも、「ロータリーは今、変革の時です。その一例として例会の形態も時代や社会情勢の変化とともに変わっていきます」と述べられています。

私はガバナーの立場として、お二人の言葉を受けて 7 月 3 日付で「地区内全てのクラブがオンラインの例会を実施できるよう準備してください」とのメッセージを配信させていただきました。振り返ってみますと、新型コロナの影響で、今年の 3 月から 6 月初旬までは、地区内ほぼ全てのクラブの例会は休会でした。今後仮に同じような状況になったとしても、オンライン例会を実施できる体制を整えておくことにより、休会にしないことも可能になります。

2016 年の規定審議会の決定により、通常の例会とオンラインの例会の垣根がなくなりました。コロナ終息後も通常の顔を合わせる例会、そしてオンラインでの例会、そのどちらを選ぶかの選択枝はクラブにあるということでございます。

今年度は、ロータリーに於いても今までにない試練の時です。しかし、ロータリーは 115 年の歴史の中で、その時代時代の変化にしっかり対応してきたからこそ、今のロータリーがあります。

今年度 RI テーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。そして地区運営方針は「新たな機会へのチャレンジで、クラブに活力を」です。皆さんで工夫をし、コロナ終息後のロータリー活動のためにも、新たな機会への扉を開くチャレンジを忘れず、この難局を乗り越えましょう。

例会出席もメイク・アップも、クラブごとに柔軟性を持って対応してください。時にはロータリークラブ定款の例外規定を有効に活用してください。但し、決してコロナを油断することなく、ロータリアン各自の健康を第一に行動してください。

